

は現在の罪を顯す。佛法の鏡は過去の業因を現す。般泥洹經云 善男子過去曾作無量諸罪種種惡業。是諸罪報。或被輕易。或形狀醜陋。衣服不足。飲食麤疎。求財不利。生貧賤家邪見家。或遭王難。及餘種々人間苦報。現世輕受斯由護法功德力。故等云云。此の經文日蓮が身に宛も符契のごとし。狐疑氷とけぬ。千萬難由なし。一一の句我が身にあわせん。或被輕易等云云。法華經云 輕賤憎嫉等云云。二十餘年が間の輕慢せらる。或形狀醜陋。又云 衣服不足。予身也。飲食麤疎。予身也。求財不利。予身也。生貧賤家。予身也。或遭王難等。此經文人疑べしや。法華經云 數々見擯出。此經文云種々等云云。斯由護法功德力故等者摩訶止觀第五云 散善微弱 不能令動。今修止觀健病不虧動。生死輪等云云。又云 三障四魔紛然 競起等云云。我無始よりこのかた惡王と生て、法華經の行者の衣食田畠等を奪とりせしことかざしらず。當世日本國の諸人の法華經の山寺をたうすがごとし。又法華經の行者の頸を刎こと其數をしらず。此等の重罪はたせるもあり、いまだはたさざるもあるらん。果も餘殘いまだつきず。生死を離時は必此重罪をけしはて、出離すべし。功德は淺輕なり。此等の罪は深重なり。權經を行ぜしには此の重罪いまだをこらず。鐵を熱にいたう(甚)き